

1. 病理部：現状と展望

病理部は設立時に以下の4点をその主目的としてスタートした。

1. 原爆被爆者剖検例の収集、整理、保存及び検討
2. 原爆被爆者手術症例の収集と整理及び検討
3. 急性原爆症例の収集及び整理
4. 米国返還原爆資料の保存及び整理

1. 原爆被爆者剖検例の収集、整理、保存及び検討

1) 剖検例の原爆の有無、及び被爆状況の調査

(イ) 数千例にも及ぶ剖検例の1例1例について遺族の方へ往復書簡を出すことによって被爆状況の実態調査が行われた。回答を得るのが困難であったものは、市役所など行政施設に赴き追跡調査を行った。この調査は最初の約2年を要し、約8,000体の症例について終了した。

(ロ) 昭和52年以降は剖検記録に付された臨床病歴により被爆の有無のチェックを行っている。

(ハ) 資料調査部と共同して、長崎市在住者については被爆者手帳の有無から剖検症例の被爆状況調査を行っている。

2) 剖検例のデータ・ベース作成

(イ) 原爆資料センター病理部のスタート時より約2年の間に、昭和49年までの長崎市内の全剖検例についてカードによるデータ・ベース作成を完了した。

(ロ) 資料調査部設置のコンピューターへの剖検記録の入力に関する作業は昭和56年10月より開始し、昭和61年12月までに昭和55年6月までの全剖検例(屍第13,000まで)の粗入力を修了し、悪性腫瘍及び肝疾患についての3,125症例に関しては入力を完了した。今後は長崎大学医学部附属病院のみならず長崎市内の各病院での解剖例についての入力を続けていく予定である。

3) 収集及び保存

長崎大学医学部附属病院及び放射線影響研究所で解剖された症例のうち、5,129体分の臓器が原爆資料センター3階の臓器室に保存されている。

4) 被爆者剖検例による諸種疾患の特異性の検討

(イ) 被爆後早い時期にみられた白血病の他に各種疾患と被爆との関係を病理組織学的に検索を続けている。現在までに検討を加えた疾患及び臓器は次の通りである。

- ①血液疾患 ②悪性リンパ腫 ③肝疾患
- ④肝癌、肝硬変 ⑤老化現象 ⑥乳癌
- ⑦重複癌 ⑧婦人生殖器悪性腫瘍 ⑨前立腺癌 ⑩脳腫瘍

(ロ) 原爆認定患者の溯及調査：生前原爆認定患者として治療を受けた症例につき、病理解剖学的にその認定の適否を検討し、過去4階に亘って報告した。この調査は認定作業の適正化に寄与してきた。

(ハ) 剖検例による諸種疾患の検討は、後障害の検討という特殊性もあり、継続していく

長崎原爆研究

予定である。

2. 原爆被爆者手術症例の収集と整理及び検討

手術症例のうち特に悪性腫瘍が問題となるが、病理部独自での収集、整理、保存は現時点では困難である。しかし幸いなことに長崎組織登録委員会との協力関係にあることから長崎組織登録委員会に登録されている症例を利用し、種々の臓器について検討を行っている。現在までに検討を加えたものは次の通りである。

- ①脳腫瘍 ②皮膚悪性腫瘍 ③前立腺癌
- ④膵臓悪性腫瘍

3. 急性原爆症例の収集及び整理

原爆投下直後から同年12月31日までに病理解剖されたのは68件とされている。ところが占領下での剖検記録は総て米国へ持ち出されてしまった。先般返却された資料には70件が急性期に相当する剖検例であり、広島の場合が混入している可能性もあるために現在照合が行われている段階である。

4. 米国返還資料の保存及び整理

- 1) 米国陸軍病理学研究所第1次（昭和48年5月）および第2次（昭和60年9月）返還資料についての整理、保管は継続中であるが、第1次返還資料の整理は終了した。
- 2) 保管してある資料はホルマリン固定の臓器の小切片組織（655件）、パラフィンブロック（692件、26,526個）、プレパラート（2,336件、66,729）、被爆直後の検査・データーなど全8,968件である。
- 3) 資料のうち、病理関係の写真及びネガが送られてきており、整理保管がなされている

が、詳細な分析は今後の課題である。

原爆による尊い剖検資料は広島と長崎だけであることを考えるとき、これらの資料は世界の多くの研究者に利用されることが望ましく、そのためにも急性原爆症から後障害の考えられる全ての被爆剖検例について整理を継続していく予定である。

5. その他の研究

癌の研究と共に現在社会問題化しつつあるのは老人問題であり、とりわけ老人性痴呆である。放射線の晩発効果としての発癌と共に、放射線障害としての加齢促進の有無を検討する必要がある。特に被爆者の高齢化にあいまって、その検索は急を要するものと考えられる。病理部ではヒト剖検例と実験動物を使用して、特に神経系の加齢を中心に検索を続けている。今後は老化のメカニズム、治療を含めた総合的な研究を進めていく予定である。

教授(併任)	池田高良
助教授	岸川正大
助手	井関充及 松本美香
技官	藤沢吉広